Rec'd 特許協力条約

T/PTO

21 APR 2005

REC'D 2 9 JUL 2005

WIPO

| 今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。

PCT

532084

PCT

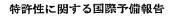
特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人

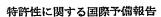
の書類記号 PC-9092			·			
国際出願番号 PCT/JP2004/00284	国際出願日 (日. 月. 年) 05.03	3. 2004	優先日 (日.月.年)	10.03.2003		
国際特許分類(I PC)Int.Cl. ⁷ C 0 8	F299/06, H01B	L/20, H011	M8/02			
出願人(氏名又は名称)	大日本インキ化学工業株	式会社				
1. この報告書は、PCT35条に基づ 法施行規則第57条(PCT36条		作成された国際予	備審査報告である	<u>.</u> გ		
2. この国際予備審査報告は、この表	紙を含めて全部で	<u>3</u> ページ	からなる。			
3. この報告には次の附属物件も添作 a.	されている。 ページである。					
「 補正されて、この報告の 囲及び/又は図面の用網	D基礎とされた及び/又はこ モ(PCT規則 70. 16 及び実	の国際予備審査機 施細則第 607 号参	関が認めた訂正 照)	を含む明細書、請求の範		
デ 第 I 欄 4 . 及び補充欄 国際予備審査機関が認		ける国際出願の開	示の範囲を超え	た補正を含むものとこの		
b. 電子媒体は全部で	•		· (電子 如	媒体の種類、数を示す)。		
	÷すように、コンピュータ読 ₹802 号参照)	み取り可能な形式	による配列表又	は配列表に関連するテー		
4. この国際予備審査報告は、次の内	 容を含む。					
□ 第 I 欄 国際予備報 □ 第 I 欄 優先権	査報告の基礎		·	,		
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成						
第IV棚 発明の単一	性の欠如			・ アの日紀 それを取付		
	ミ(2) に規定する新規性、進歩)文献及び説明	2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付 「献及び説明				
第VI欄 ある種の						
第VII欄 国際出願6		•				
第22個 国際出願	対する意見	•				

国際予備審査の請求書を受理した日 21.04.2004	国際予備審査報告を作成した日 13.07.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 小 野 寺 務
東京都千代田区貿が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3457



国際出願番号 PCT/JP2004/002843

第I欄	報告の基礎
1. この	国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。
	2 0 1 7947/11-1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され 用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)
V	出顔時の国際出顔書類
Г	明細書
	第 ページ、出願時に提出されたもの
	第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの イージ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
_	
1	請求の範囲
•	第 項、出願時に提出されたもの 第 PCT19条の規定に基づき補正されたもの
	第
i	第 付けで国際予備審査機関が受理したもの
г 	図面 第
з. Г	補正により、下記の書類が削除された。
	厂 明細書 第 ページ
	「 請求の範囲 第
	第 図面 第 ページ/図
	□ 配列表(具体的に記載すること)
	「 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)
4. F	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c)) 「明細書 第
* 4.	に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。



国際出願番号 PCT/JP2004/002843

第V椰 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条 (PCT35 条 (2)) に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明				
. 見解				
新規性(N)	請求の範囲	1-13	有	
	請求の範囲		無	
進歩性(IS)	請求の範囲	1-13	有	
	請求の範囲		無	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-13	有	
	請求の範囲		無	

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

請求の範囲1-13

請求の範囲1-13に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載 されておらず、当業者にとって自明なものでもない。